

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 293

福岡市東区箱崎6丁目10番1号
九州大学大型計算機センター
広報教育室(TEL092-641-1101)
内線 2505

目 次

1. アプリケーションプログラムの整理・統合について…………… 1
2. 統計データ処理パッケージANALYSTの公開について …… 2
3. 「熱物性値計算プログラム・パッケージPROPATH」の登録
に伴う登録済み「水および水蒸気熱物性値計算プログラム・パ
ッケージSTMTLK」の登録形態の変更について…………… 5
4. 通信管理システムの移行について…………… 6
5. INSPEC 検索講習会の開催について…………… 7
6. Fortran 講習会の開催について …… 7
7. 利用通知書の変更について…………… 8

1. アプリケーションプログラムの整理・統合について

富士通提供アプリケーションプログラムについて、以下のように整理・統合を行います。移行に際し、移行資料が必要な方は、ライブラリ室まで申し込んでください。

1. ADSL/X

5月7日(月)より廃止されますので、速やかにSLCS IVに移行してください。

2. MULVA/X, QUANTAS, SDA II

6月4日(月)より、これらはすべてANALYSTに統合されます。それまでを移行期間とします。ANALYSTについては、次の2を参照してください。

対象プログラム名	移行プログラム名	移行時期	移行資料	マニュアル
ADSL/X	SLCS IV	59.5.7	ADSL/X-SLCS IV コンバージョンガイド	下記文献1, 2, 3
MULVA/X	ANALYST	59.6.4	ANALYST移行手引書 (MULVA/X編)	2の文献1, 2, 3, 4, 5, 6, 7
QUANTAS	ANALYST	59.6.4	ANALYST移行手引書 (QUANTAS編)	2の文献1, 2, 3, 4, 5, 6, 7
SDA II	ANALYST	59.6.4	移行手引書(SDA II編)	2の文献1, 2, 3, 4, 5, 6, 7

なお、上記以外に以下のアプリケーションプログラムについても整理・統合を計画していますので、お含みおきください。

対象プログラム名	移行プログラム名	移行時期	マニュアル
AXEL	AXEL II	59.7 予定	下記文献4,5
DYNAMO	SLCS IV	59.7 予定	下記文献1,2,3
SOLF	GPSS/X	59.7 予定	
KEMPF/X	SCOPE	59.8 予定	4月下旬発刊予定
TIMS	SCOPE	59.8 予定	4月下旬発刊予定
FEM II	FEM III	59.8 予定	下記文献6
ASTRA	FEM III	59.8 予定	下記文献6
PERT/MANPOWER	TRACE III	59.8 予定	4月下旬発刊予定

参考文献

1. 計算機マニュアル FACOM OS IV SLCS IV 解説書(言語編)(70AR-0131), 富士通株。
2. 計算機マニュアル FACOM OS IV SLCS IV 解説書(図形編)(70AR-0132), 富士通株。
3. 計算機マニュアル FACOM OS IV/F4 SLCS IV 使用手引書(64AR-0140), 富士通株。
4. 計算機マニュアル FACOM AXEL II 解説書(99AR-2450), 富士通株。
5. 計算機マニュアル FACOM OS IV/F4 AXEL II 運用手引書(64AR-2460), 富士通株。
6. 計算機マニュアル FACOM OS IV FEM II/III 解説書(70AR-5300), 富士通株。
(ライブラリ室 電(内)2523)

2. 統計データ処理パッケージANALYSTの公開について

ANALYST (Analyzer for Statistical Data) は、従来の富士通提供統計プログラム MULVA/X, QUANTAS, SDA II などを統合化し、日本語処理機能などを付加した総合統計パッケージです。それは、次のような特徴を持っています。

- i) 日本語処理………日本語情報の定義/入力機能、日本語による統計処理結果の表示機能がある。
- ii) 会話処理………以下に示すANALYSTコマンドにより、TSS処理が行える。また、ANALYSTの中で、通常のTSSコマンドを呼出すことができる。
- iii) マクロ機能………一連のコマンドをマクロ化し、定形的な処理に備えることができる。これらは、マクロライブラリに保存できる。

- iv) データバンク………データの保存や管理などを統一的に行えるデータバンク機能がある。
- v) 多重回答処理機能がある。

ANALYSTは、次のようなコンポーネントから構成されています。

- ANALYST/BASE ……基本部。データバンク処理、マクロ処理、会話処理などの運用制御、データ入力、データ定義、データ変換などのデータ基本処理を行う。
- ANALYST/TABULATE ……集計・作表サブシステム。統計レポート、クロス表、統計グラフの作成を行う。
- ANALYST/ANALYZE ……統計解析サブシステム。多変量解析、数量化理論などの統計解析処理を行う。
- ANALYST/JEF ……JEFオプション。日本語処理支援を行う。
- ANALYST/GRAPHICS ……グラフ・図形出力機能。ただし、これは仮提供版である。使用に際しては、マニュアル[1, 2, 3, 4, 5, 6, 7]を参照して下さい。ただし、GRAPHICSに関しては、プログラム相談室または図書室の資料を参照して下さい。なお、9月に、ANALYSTの講習会を開催する予定です。

1. TSSによる使用

コマンド	オペランド
ANALYST	[BANK (データセット名)] [BNEW] [MACRO (データセット名)] [MNEW]

1) オペランドの説明

- BANK (データセット名) : ANALYSTデータバンクを指定する。
- BNEW : データバンクの新規作成時に指定する。
- MACRO (データセット名) : マクロライブラリを指定する。
- MNEW : マクロライブラリの新規作成時に指定する。

2) 使用例

- i) 素データをデータセットから入力し、ANALYSTデータバンクを新規作成する。

```
ALLOC F(MYDATA) DA(RAWDATA. DATA) SH
ANALYST BANK(ANAL. DATA) BNEW
ANALYST_ (ANALYSTコマンドを入力する。)
```

プロンプティング

- ii) 既存のANALYSTデータバンク、マクロライブラリを使用して実行する。

```
ANALYST BANK(ANAL. DATA) MACRO(MAC. DATA)
ANALYST_ (ANALYSTコマンドを入力する。)
```

プロンプティング

2. バッチによる使用

プロシジャ名	記号パラメータ
ANALYST	[,SYSOUT={ A K S O }]

1) 関連するDD名

BANK : ANALYSTデータバンクを指定する.

MACRO : マクロライブラリを指定する.

MYDATA : 素データの入力データセットを指定する.

2) 使用例(上記TSSの場合と同じ条件)

i)

```

// EXEC ANALYST
//MYDATA DD DSN=F9999. RAWDATA. DATA, DISP=SHR
//BANK DD DSN=F9999. ANAL. DATA, DISP=(NEW, CATLG),
// UNIT=PUB, SPACE=(6144, (50, 50, 10))
//SYSIN DD *
      (ANALYSTコマンド)
//

```

ii)

```

// EXEC ANALYST
//BANK DD DSN=F9999. ANAL. DATA, DISP=SHR
//MACRO DD DSN=F9999. MAC. DATA, DISP=SHR
//SYSIN DD *
      (ANALYSTコマンド)
//

```

参考文献

1. 計算機マニュアル FACOM OS IV ANALYST解説(70AR-0800-1), 富士通株.
2. 計算機マニュアル FACOM OS IV ANALYST/BASEコマンド説明書(70AR-0821-1), 富士通株
3. 計算機マニュアル FACOM OS IV ANALYST/TABULATEコマンド説明書(70AR-0822-1), 富士通株.
4. 計算機マニュアル FACOM OS IV ANALYST/ANALYZEコマンド説明書(70AR-0823-1), 富士通株.
5. 計算機マニュアル FACOM OS IV ANALYST/JEFコマンド説明書(70AR-0824-1), 富士通株.
6. 計算機マニュアル FACOM OS IV ANALYSTメッセージ集(70AR-0830-1), 富士

通株。

7. 計算機マニュアル FACOM OS IV/F4 ANALYST 運用手引書(64AR-0810-1),
富士通株。

(ライブラリ室 電(内)2523)

3. 「熱物性値計算プログラム・パッケージ PROPATH」の登録に伴う登録済み「水および水蒸気熱物性値計算プログラム・パッケージ STMTLK」の登録形態の変更について

熱物性値計算プログラム・パッケージ PROPATH を59年6月4日(月)付け登録し、同日から一般の利用に供します。PROPATH は、登録済みの水および水蒸気熱物性値計算プログラム・パッケージ STMTLK を本質的に含んでいますが、PROPATH と STMTLK を同時にロード・モジュールとして登録することはできません。従って、6月4日以降、STMTLK はソース・プログラム(データセット名は▼ LIB. STMTLK. FORT ▼)の形式でのみ公開します。

従来通り、STMTLK のみ使用する場合は、例えば以下のようになります。

```
// EXEC FORT77
// FORTCGO. SYSIN DD DSN=利用者ソースデータセット名, DISP=SHR
// DD DSN= LIB. STMTLK. FORT, DISP=SHR
//
```

また、6月4日以降、PROPATH を使って STMTLK と本質的に同じ計算をするにはユーザーのプログラムの先頭に、

```
CHARACTER FLUID*16
COMMON/BLK/FLUID
FLUID='WATER'
```

を書き、関数の引数も関数の値もすべて単精度実数とすることになります。

PROPATH は関数型汎用熱物性値プログラム・パッケージであり、水以外の他の数種の物質についても FLUID の値を変更することのみにより、STMTLK と類似な機能をはたします。なお、STMTLK では正規の関数の他に TPH および TPS という2個の関数が用意されておりましたが、PROPATH ではこの2つの関数は正規の関数として組み込まれ、いずれについても引数の個数が少なくなっています。従って、STMTLK の関数 TPH あるいは TPS を呼んでいるプログラムを、そのまま PROPATH の下で使用する場合には、その部分の書きかえが必要です。機能の詳細については、追って広報[1]等で紹介します。

参考文献

1. 伊藤, 黒木, 茂地, 高田, 松本, 山下 PROPATH: 熱物性値プログラム・パッケージ, 九大大型計算機センター広報, 17, 3, 1984(5月末刊行予定)。

(ライブラリ室 電(内)2523)

4. 通信管理システムの移行について

5月7日(月)より、通信管理システム(VTAM)をこれまでのVTAM-FからVTAM-Gに移行します。これに伴いシステムの利用法が変わります。

1. システムメッセージの変更

従来表示されていたPLEASE LOGONのメッセージが、SYSTEM READYに変わります。また空行入力時に表示されていた日付、時刻、TSS利用者数は表示されなくなります。

2. アテンション(端末割り込み)

アテンションが擬似アテンションから実アテンションに変わります。

従来、プログラム実行時またはコマンド応答待ち時には、一定間隔で'***'が表示され処理の続行(ENTERキーやRETURNキー)や打ち切り(アテンション:PA1キー)を端末利用者が選択できました。VTAM-Gでは擬似アテンションが使用できず'***'は表示されません。しかし、任意の時点で実アテンション(RESETキー押下後PA1キー)が受け付けられます。

(注)このキー操作の変更はF9525系端末(フルスクリーン端末)のみ

3. TSSコマンド

以下のコマンドまたはオペランドはVTAM-Gでは使用できなくなります。

• SCREEN コマンド

• TERMINAL コマンドのオペランド

SECONDS/NOSECONDS

INPUT/NOINPUT

TIMEOUT/NOTIMEOUT*

CLEAR/NOCLEAR

*交換回線やPACXでTSSを利用する場合、端末が入力可能状態で一定時間何も入力しないと、タイムアウト扱いになり回線は強制切断されていましたが、この機能がなくなりました。しかし、LOGOFFすると回線はセッションごとに切断されます。

4. 大学間ネットワーク(N1NET)の使用方法が変更になります。

九大センターから他センターを利用する場合の使用方法が変わります。他センターから九大センターを利用する場合は従来どおりです。

• N1TSSユーザ(NVTユーザ)についてはファイル転送の方法が変わります。それ以外は変わりません。

• N1RJEユーザについてはTSSでも使用可能になりました。

N1NETの使用方法については手引きなどの準備を急いでおりますが、詳しい利用法の広報は5月中旬頃になる見込みです。それまでは、簡単な利用方法の手引きをセンター2階受付に置いておりますので、ご希望の方は受付までご連絡下さい。

(ネットワーク室 電(内)2510)

5. INSPEC 検索講習会の開催について

標記講習会を下記のとおり開催します。受講希望者は、共同利用掛（電（内）2505）にお申込みください。なお、講習会準備の都合上、募集定数に達し次第、申し込みを締切らせていただきます。

記

- ・開催日 5月9日（水）
- ・募集人員 40名
- ・会場 九州大学大型計算機センター・多目的講習室（3階）
- ・内容 情報検索システムAIRによるINSPECデータベース（物理学，電気・電子工学，計算機科学，制御工学関係の文献データベース）の検索法
- ・テキスト センターで用意
- ・時間割

	10:30	12:00	13:30	17:00
5月9日（水）	検索法の説明	昼休み	実 習 *	

* 実習は、この時間帯であればいつでも受けられます。

- ・申込み期限 5月4日（金）

6. Fortran 講習会の開催について

標記講習会を下記の要領で行います。受講希望者は、共同利用掛（電（内）2505）にお申込み下さい。なお、講習会準備の都合上、募集定員に達し次第、募集を締切らせていただきます。

記

- ・期 日 5月23日（水）～24日（木）
- ・対 象 プログラミング未経験者
- ・募集人員 60名
- ・会 場 九州大学大型計算機センター多目的講習室（3階）
- ・内 容 Fortran 77によるプログラミング入門
- ・テキスト センターで用意
- ・時間割

	10:00	12:00	13:30	17:00
23日（水）	基本文法	昼休み	入出力とデータセット	

	10:00	12:00	13:30	17:00
24日（木）	演 習	昼休み	TSSコマンドとJCL	

- ・申込み期間 5月1日（火）～5月19日（土）

7. 利用通知書の変更について

課題登録者、及び支払責任者への利用負担金額は封筒式の利用通知書で通知していましたが、59年5月より通知方法を次のように変更します。

1. 課題登録者への通知方法

課題登録者への利用通知書の発行を廃止し、TSSコマンド、又はカタログドプロシジャにより利用者自身で利用負担金額を検索できるようにしました。

なお、このTSSコマンド、又はカタログドプロシジャでは単独の課題番号のみでなく、同一登録者名による複数課題の利用負担金請求額、及び年度当初から現在までの使用額が表示できます。

TSSコマンド、及びカタログドプロシジャの形式は次のとおりです。

A. TSS コマンド

コマンド名	オペランド
CHARGE	[F n n n n] [F n n n n]

B. カタログドプロシジャ

カタプロ名	パラメータ
CHARGE	[PARM= ' F n n n n [, F n n n n] ']

C. オペランド、及びパラメータの説明

F n n n n 課題登録名を指定する。複数課題を指定した場合には、指定した課題についてのみ表示する。

省略時は当該課題番号についてのみ表示する。

利用負担金請求額、及び使用額を表示するが、前月（前回）までに請求実績がない場合には使用額のみ表示する。

D. 使用例、及び表示例

使用例 1. (オペランド、又はパラメータ指定なし)

```
CHARGE ..... TSS
// CHARGE ..... BATCH
```

使用例 2. (オペランド、又はパラメータ指定あり)

```
CHARGE F0001 ..... TSS
// CHARGE PARM= 'F0001' ..... BATCH
```

表示例 1. (利用負担金請求額、及び使用額を表示)

RIYOU FUTANKIN NO JISSEKI			
KADAI	F0001	SYUTURYOKUBI	S59. 06. 10
		S59. 04. 01-S59. 04. 30	¥999,999
SEIKYUU		S59. 05. 01-S59. 05. 31	
		KENSUU	SEIKYUU
BATCH		99,999	¥999,999
TSS		99,999	¥999,999
DATASET		99,999	¥999,999
MSS		99,999	¥999,999
CARD		99,999	¥999,999
TOTAL		99,999	¥999,999
YOSANGAKU			¥999,999
SIYUUGAKU	S59. 04. 01-S59. 06. 10		¥999,999

表示例2. (利用負担金の請求実績がない場合)

RIYOU FUTANKIN NO JISSEKI			
KADAI	F0001	SYUTURYOKUBI	S59. 06. 10
YOSANGAKU			¥999,999
SIYUUGAKU	S59. 04. 01-S59. 06. 10		¥999,999

2. 支払責任者への通知方法

支払責任者への利用通知は封筒式の利用通知書を発行していましたが、葉書式の利用通知書に変更します。なお、通知内容は封筒式のものとおなじです。

(業務掛 電(内)2518)

「FORTRAN比較表(第4版)」(センターニュースNo. 288 に掲示)の残部がありますので、御希望の方は共同利用掛(内2505)まで申し込んでください。